

# 米国オレゴン州旅行(1998)

## —その19:ポートランド周辺(2)—

オレゴン旅行(19)ポートランド周辺(その2)

7/19(日)

案内書に、さあ、オレゴン州とワシントン州の規則を守って、シートベルトを付けて出掛けようとなった。(Buckle your seat belts (it's the law in Oregon and Washington!))

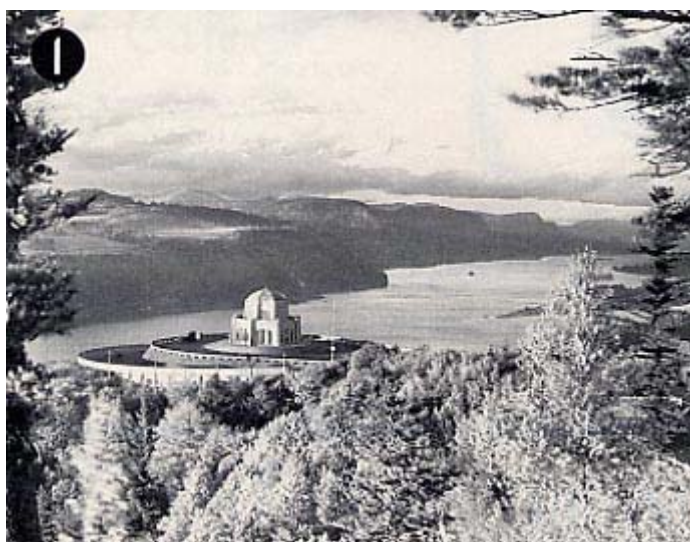


今日はコロンビア川のオレゴン側の観光道路に行くことにした(上の地図)。ポートランドからI-84を東へ進み、Exit17で降りてTroutdaleの町から1913年に土木工学の偉業と言われる米国北西部ではじめての舗装道路Historic Columbia River Highwayへ進む。I-84が川の縁を直線的に走るのに対してHistoric Columbia River Highwayは玄武岩の絶壁の上の自然の中を美しい景色を最大限に堪能できるように大きくくねりながら進む。この道はヨーロッパの道路設計手法の影響を可成受けている様であった。I-84と平行しており、何箇所かで相互に連絡している。Troutdale Bridgeを渡り、Dabney State Park、



SpringdaleとCorbettと言う小さな集落があり、ここから24マイルガソリンステーションがありませんと言う表示。しばらく行くとPortland Women's Forum State Park viewpointと言うのがあった。これは地域の女性達の会が建設資金を出して作ったものであろう。有名なクラウンポイントより、手前で、少し、海拔の高いところの見晴台で、クラウンポイントより駐車スペースも沢山あり、クラウンポイントを見下ろせ、コロンビア川の視界の素晴らしいところであった。少し下るとVista House at Crown Point(上の写真)に到着。ここは川面から

240m上にある。これは1917年に建設されたもので、ちょうど80周年の記念行事が午後行われると言うことで準備が進められていた。48km溪谷の眺望が出来る。時間の関係で、記念行事は見れなかったが、土地の名士が礼服を着て、ブラスバンドや国旗掲揚のボーイスカウト、ガールスカウトの子供たちが準備をしていたり司会をする女性がマイクのテストをしたり、建物の前の広場には参列者用の折り畳み椅子がならべられ(50卓位か)駐車場では警察官が参列者用の駐車スペースを確保するために整理に当たっていた。指示された場所に車を停めて、建物の中や、コロンビア川の眺望(上の写真)を楽しんでいると一人の男性が話し掛けてきた。この人は自然保護団体の人で、この地域に建設が予定



されているアスファルトプラントと砕石場の建設に反対してほしいとのことであった。国はこの地域の環境保全のために多額のお金を投入している一方、環境破壊につながる工場の建設を黙認しようとしているのはけしからんと言うこと。この反対運動に賛同出来るのなら、州選出の国会議員、州議員、地方議員へ許可しないように、Eメールで働きかけてほしいということであった。そして

各議員のEメールのアドレスリスト”**Something is terribly wrong in the Gorge**”をくれた。私はここの住民ではないと言うと、海外からでも趣旨に賛同するのであれば、直接、Eメールを出して欲しいと依頼された。赤旗も掲げず、派手な服装もせず、淡々と一人一人を説得して回る地味な態度に感銘を受けた。また、一市民からのEメールに丁寧に対応する代議士諸氏のいることにも驚かされた。ちょっと変わった体験の後は、滝、滝、滝のラッシュであった。3つの州公園Latourell(右の写真), Shepperd's Dell and Bridal Veilには沢山の滝が観光道路の近くに散在していた。この辺はコロンビア川の絶壁が続き滝の多いところである。昔からの生活の基盤もこの川を中心に成り立っていたようでアメリカインディアンが象形文字や人の顔の絵を岩の壁





面に残している。また、絶壁に木製のプラットホームをつくり、そこから魚を捕っていたそうで、とても危険な作業であるが現在も一部で続いているそうである。コロンビア川は白人が西部へ進出した時にも重要な交通路であった。所謂、オレゴントレイルである。**Bridal Veil Falls** (左の写真) は約400mほどアップダウンの小道を入ったところにあった。

道路まで戻り、車で少し行くと **Multnomah Falls** に到着。この滝を見ること無しにコロンビア渓谷を語れないと言うほど有名な滝である(右の写真)。滝を見上げる道路の脇には石造りのロッジがあり、USDA (米国農林省) の観光案内所、売店、レストランなどがあつた。舗装した歩道が189mの滝の最上部まで通じてる。この滝は米国で4番目(年間を通じて流

れ落ちる滝としては2番目)に高い滝である。1995年 Labor Day には400トンの岩石が崩れ落ちたそうである。この歩道の上部が約100フィートに渡る崖崩れ(ダンプカー15台分)で閉鎖されていたが、USDA (米国農林省) では次のことを判りやすく説明したパンフレットを配っていた。

**What?** 約100フィートの渡る崖崩れ(ダンプカー15台分) **When?** 1998年1月19日、**Where?** (省略) **Geology?** (省略) **What is being done?** (省略)

**When will the trail be open?**

質問は簡単だが回答は複雑である。(8項目に別けて回答)

**So when will the trail be open?** 早ければ1999年秋、

遅くとも2000年春。 **How can I get the top of the falls now?** 滝の上に行くには遠回りになるが別の二つのルートがある。滝の中間に歩道の橋が渡されており、これが滝の美しさを増している。この滝の付近ではI-84と **Historic Columbia River Highway** が接近しており、駐車場も両方にあり観光客の便宜を図っている。この後、**Horsetail Falls** (馬のしっぽのような流れ) などがあつた。観光道路が終わり、I-84へ合流し、東へと進む。

**Cascade Rock** のレストランで昼食。ここは **The Sternwheeler Riverboat** の出発点 **Cascade Rock** を出発地とした水車状の推進輪の付いた観光船がポートランドまで運行されている。





所要時間 2 - 3 時間。平日は 3 便、金曜にはそれらに加えてライブ音楽と夕食付き便、土曜は昼と夜のいずれも食事付きの便、日曜は昼の食事付便等がある。川下りのみのサービスで、時間の関係もあり利用しなかったが、車とは違う体験が出来るものと思う。

Cascade Rock から対岸に渡る Bridge of the Gods がある（この橋の写真はその 17 に掲載してある）。記録に残る歴史よりずっと以前にインディアンの伝説に ” 偉大な魂 ” がこの橋を作ったとある。科学者によれば、約 1 0 0 0 年前、現在の Cascade Rock の近くのワシントン州側の山が崩れ、川が塞き止められ、アイダホ州へ至る草原を水で埋め尽くすほどの自然のダムができた。その後、水の力でダムに穴があき、自然の岩の橋が出来たと解説している。この橋 "The Great Cross Over" と呼ばれていたのが現在の "Bridge of the Gods" である。そして、自然の岩の橋は侵食により流れ去った。1 9 2 6 年 1 0 月に片持梁のメインスパンとアンカーアームと木製のデッキから成る橋が完成した。現在の人工の橋は以前の自然のものよりは魅力的ではなくなった。その後、1 9 3 8 年の Bonneville Dam 建設による水位の上昇などで何回も改修が行われ、現在に至っているが、コロンビア川の架かる橋では三番目に古いこの橋はオレゴン州とワシントン州を結ぶ重要な連絡路である。帰りは I - 8 4 の途中の駐車場でコロンビア川の眺望を見収めして、真っ直ぐポートランドへ帰った。下の写真は I - 8 4 の途中でコロンビア川を川上に向かって撮影した。

